

令和4年11月定例会 文教厚生委員会

令和4年12月14日（水）

〔委員会の概要 教育委員会関係〕

岩佐委員長

ただいまから、文教厚生委員会を開会いたします。（13時03分）

直ちに議事に入ります。

これより教育委員会関係の調査を行います。

この際、教育委員会関係の追加提出予定議案について理事者側から説明を願うとともに、報告事項があればこれを受けることにいたします。

【追加提出予定議案】（説明資料（その4））

- 議案第38号 令和4年度徳島県一般会計補正予算（第10号）

【報告事項】

なし

榊教育長

11月定例県議会閉会日に追加提出を予定いたしております教育委員会関係の議案等につきまして、御説明申し上げます。

今回、御審議いただきます案件は、令和4年度11月補正予算案及び繰越明許費でございます。

それでは、文教厚生委員会説明資料（その4）の1ページを御覧ください。

歳入歳出予算の総括表でございます。

教育委員会全体の一般会計補正予算額といたしまして、表の最下段の計の欄に記載のとおり2億3,147万円の増額補正をお願いいたしております。

この結果、令和4年度一般会計の予算総額は788億7,475万2,000円となっております。

なお、各課別の補正額及び財源内訳につきましては、表に記載のとおりでございます。

続きまして、3ページを御覧ください。

課別の主要事項につきまして御説明申し上げます。

まず、教育政策課でございます。

学校管理費、全日制高等学校管理費、定時制高等学校管理費、続いて4ページに移りまして、特別支援学校費におきまして、それぞれアの学校における感染症対策事業では、学校が感染症対策を徹底しながら教育活動を継続するため、必要となる保健衛生用品の整備等に要する経費といたしまして、計1億2,888万円を計上いたしております。

また、特別支援学校費のイの送迎用バス安全装置整備事業では、県立特別支援学校の送迎用バスへの安全装置設置に要する経費といたしまして324万円を計上いたしております。

続きまして、5ページをお願いいたします。

福利厚生課でございます。

福利厚生費の①福利厚生費におきまして、アの教職員の感染拡大防止対策強化事業では、学校において感染拡大が懸念される年末年始後の新学期におきまして、感染の早期発見、早期封じ込めの取組を徹底するため、希望する教職員に対する抗原定性検査キットを活用した集中検査の実施に要する経費といたしまして1,500万円を計上いたしております。

続きまして、6ページでございます。

学校教育課でございます。

教育指導費の①学校教育振興費におきまして、公立幼稚園における感染症対策を徹底しながら教育活動を継続するために要する経費について、設置者である市町への補助を行う経費といたしまして、アの園務改善のためのICT化支援事業では825万円を、イの学校における感染症対策事業では1,700万円を計上いたしております。

さらに、公立幼稚園における子供の安全対策を強化するために要する経費について、設置者である市町への補助を行う経費といたしまして、ウの登園管理システム支援事業では3,808万円を、エのICTを活用した子供の見守り支援事業では1,088万円を計上いたしております。

続きまして、7ページを御覧ください。

体育健康安全課でございます。

保健体育総務費の①学校安全管理指導費におきまして、アの送迎用バス安全装置整備事業では、公立幼稚園、小中学校における送迎用バスへの安全装置設置に要する経費について、設置者である市町への補助を行う経費といたしまして1,014万円を計上いたしております。

続きまして、8ページを御覧ください。

繰越明許費についてでございます。

先に御説明いたしました補正予算のうち、福利厚生課の教職員の感染拡大防止対策強化事業を除く事業の執行が翌年度にまたがりますることから、これらについて繰越明許費の設定をお願いするものでございます。

以上で、追加提出予定議案の説明を終わらせていただきます。

なお、報告事項はございません。

御審議のほど、どうかよろしくお願いいたします。

岩佐委員長

以上で説明は終わりました。

これより質疑に入りますが、質疑につきましては追加提出予定議案に関連する質疑にとどめたいと思いますので、御協力をよろしくお願いいたします。

また、先ほど開会された議会運営委員会において、追加提出予定議案については本日の委員会で十分審議の上、明日の本会議においては委員会付託を省略して議決することが決定しておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、質疑をどうぞ。

井下委員

数点確認させてください。こどもの安心・安全対策事業についてお伺いいたします。今年9月に静岡牧之原市において発生した、認定子ども園の送迎バスの中に子供が置き去りになるという大変痛ましい事案を受けての今回の事業だと思います。この送迎用バス安全装置整備事業についてもう少し内容を教えていただけませんか。

吉岡体育健康安全課長

ただいま井下委員から、送迎用バス安全装置整備事業について御質問を頂きました。

この度、国におきましては、子供のバス送迎に当たりまして安全管理の徹底に関する緊急対策が策定され、送迎用バスの安全装置の装備、そして登園管理システムや見守りタグの導入に係る経費を支援するための第2次補正予算が成立したところでございます。

このうち、送迎用バスの安全装置の装備につきましては、本県におきます子供の安心・安全対策の強化を図るために、市町村が行う公立幼稚園、小中学校の送迎用バス等への安全装置の設置に係る経費に対して補助を行うものとなっております。

この安全装置につきましては、国土交通省が12月末をめどにガイドラインを策定することとされてされておりまして、その装置といたしましては運転手が車内に園児が残っていないかを確認し、確認後、車両後方のボタンを押さなければ車外に警報サイレンが鳴るといふ押しボタン方式、そしてカメラ等で車内を監視し、エンジン停止後、園児等が取り残された場合にはそれをA I が判断しまして車外に警報を発報する自動検知方式などが検討されておりまして。

この設置費用といたしまして、義務化の対象であります幼稚園のバスに対しましては基本的に全額、1台あたり上限18万円、また義務化ではありません小中学校のバスに対しましてはその半額程度の1台あたり上限10万円の補助を考えております。

積算の根拠といたしましては、県内では11月末時点で16市町で95台の送迎バスを運行しておりまして、そのうち8台に幼稚園児と小中学生が同乗しております。これら8台に関しまして、掛ける18万円で144万円、残りの87台に関しましては小中学生のみが利用しておりますので、87掛ける10万円で870万円、これらを合計いたしまして事業費として1,014万円としておるところでございます。

井下委員

内容はなんとなく分かりました。ありがとうございます。中学生ぐらいになると、多分自分たちでも何とかできるのかなと思うんですけど、それと今、議案の説明を読ませていただいていたら、この登園管理システム、見守りタグの導入の部分もそうですし、学校教育課の登園管理システム支援事業とICTを活用した子供の見守り支援事業が該当すると思われませんが、この事業概要を教えてくださいたいのと、あとここにバスと書いてあるんですけど、バスなのかマイクロバスなのか、これの定義のところと申請期間なども分かれば教えていただけませんか。

上岡学力向上推進室長

ただいま井下委員から、先ほどこちらのほうで回答いたしました中の登園管理システムや見守りタグの導入の部分は、学校教育課の登園管理システム支援事業、ICTを活用し

た子供の見守り支援事業が該当するのではないかという御質問を頂きました。

その点に関して事業概要をという御質問を頂きましたが、委員御指摘のとおり、登園管理システムや見守りタグの導入の部分につきましては、登園管理システム支援事業とICTを活用した子供の見守り支援事業が該当いたします。

まず登園管理システム支援事業ですが、市町村が公立幼稚園において適切な登園管理を行うため、アプリなどを利用して園児の登降園の状況の確認、欠席の報告など、保護者からの連絡を容易にするとともに、職員間で共有するシステムの導入に必要な経費に対して補助を行うものであります。このシステムの導入費用といたしましては、事業費の上限が70万円と設定されておりまして、補助率が5分の4となっております。そこで56万円となりまして、県内全ての幼稚園68園分で3,808万円を計上させていただいております。

次に、ICTを活用した子供の見守り支援事業ですが、市町村が公立幼稚園において園児の安全対策の強化のため、GPSを使用し、園児の位置情報を把握し、見守るサービスに係るキットの導入に必要な経費に対して補助を行うものとなっております。このキットの導入費用といたしまして、事業費の上限が20万円で補助率が5分の4となっておりますので、16万円となります。県内幼稚園68園分といたしまして1,088万円を計上させていただいております。

#### 吉岡体育健康安全課長

井下委員から、対象となるバスの定義について、それからこれらの事業をいつまでに終了させなければならないのかという御質問を頂いております。

これらのことにつきましては、国土交通省のガイドラインに示されると聞いております。このガイドラインは、先ほど申しましたように12月末をめどに出されると聞いておりますので、これらをしっかり確認してまいりたいと思っております。

#### 井下委員

安全管理を徹底するというのは、これまでもやっていただいていると思いますが、今回9月には大変痛ましい事故、人為的なミスもあったのかなと思います。今後防止するという事で、国交省のガイドラインに沿っていろいろやっていくと思うんですが、スムーズな流れで現場の対応をしっかりとやらせてもらえたらと思います。まとまった数が要るんだろうし、全国的に一気にニーズが高まると思いますんで、その辺も事業者さんと一緒になってしっかり予算を活用していただけたらと思います。

それと、もう1点、今回の補正予算の中に教員の感染拡大防止対策強化事業とあるんですが、これについても具体的にどのようなことなのか分かりやすく教えてもらっていいですか。

#### 大西福利厚生課長

ただいま井下委員から、教職員の感染拡大防止対策強化事業の事業内容について詳しくという御質問でございます。

これまでも議会の皆様に予算をお認めいただきまして、学校等へのウイルスの持込みを防止するため、幼小中高及び特別支援学校の教職員を対象に、抗原定性検査キットにより

ます集中的な検査を実施してまいりました。

例えば、全国的に感染者数が増加局面となり、本県においても10代を中心に感染者が増加していたことから、11月15日から28日までの間、週3回の集中的な検査を実施しております。年明け後の新学期は入試や終業式と大事な時期を迎え、一層の感染対策が求められているところがございますので、今後も引き続き集中的な検査が実施できるよう、本事業におきまして抗原定性検査キット購入の予算を確保するため計上させていただいているものがございます。

井下委員

今回の予算でどれくらいの検査キットが購入できるのかと、こういったケースに使われるのか教えてください。

大西福利厚生課長

ただいま井下委員から、検査キットはどれくらい購入できるか、どういうときに使うかという御質問でございます。

今回の補正予算で1万5,000キット程度確保できると考えております。年明け後の新学期は2月を中心に大学入試が実施されるとともに、3月1日には県立高校の卒業式、それから3月7日、8日は県立高校の入試が行われるところがございます。こういう重要な行事が続いて、感染対策の徹底が求められているところがございますので、2月から3月にかけて集中的な検査を実施することを想定しております。

既に確保している検査キットに加えて、今回の補正予算で確保するキットを活用しまして、今後の集中的な検査に対応していきたいと考えております。また、国から別途配布されたキットもありますので、そういうものも活用していきたいと考えております。

井下委員

では、これまでも抗原検査キットで集中的な検査をやってきたと思うんですが、これまでで何人が検査を受けて、どれくらい陽性の人がいたのか教えてください。

大西福利厚生課長

何人が検査を受け、陽性者がどれくらいだったかという御質問でございます。

今年度、まず7月、小学校を中心に学校関係者に感染が拡大しておりました7月16日から28日までの間に週2回の集中検査を実施しております。そのときは1,135人が検査を受けて、陽性者は3名でございました。

それから夏休み明け前、8月18日から31日までの間に、これも週2回の集中検査を実施しました。このときは2,760人が検査を受けまして、陽性者は20名となっております。

さらに、先月、11月15日から28日までの間に週3回の集中検査を実施しまして、これは速報値でございますが約2,600人が検査を受けて陽性者は19名となっており、感染の封じ込めに一定の効果があったと考えております。

井下委員

もう一つ、議案の中に新型コロナウイルスから学校現場を守る検査体制の更なる強化とか、あと学校における感染症対策強化支援事業とかが出ているんですけど、これまでとまた変わってきている部分は多々あると思います。病気そのものの弱毒化であったり、僕もさきの委員会ではマスクの緩和とかいろいろ話をさせてもらったんですけど、国の方針として五類に下らず二類のままの扱いという流れでやっているかと思います。

これから受験があったり、子供にとって未来がかかっているというのがあって、なかなか評価は難しいところがあると思います。実際の病気の症状と雰囲気が変わってきているところはあると思いますが、教育委員会のほうで一定の効果があるということであれば、やっていただいたほうがいいのかなと思います。

それともう1点、この検査以外に今回出ているんですけど、子供たちに負担になるような感染症対策はできるだけ避けてほしいなと思っています。今までみたいに御飯のときは黙って食べなさいとか行事をやめたりとかではなくて、なかなか難しいと思いますが、両立しながらもしっかりできることを、この2年間の反省点も踏まえてやっていただきたいなと思っておりますので、これは意見として取っておいてくれたらと思います。

#### 山田委員

私からも、今の山下委員の質問との関係で一つ、今回全体的に思うのは、学校現場とかの新型コロナウイルス感染症対策の強化ということがメインになっていますよね。

しかし、昨日も牟岐小学校4年生がインフルエンザで学年閉鎖という状況も出たんです。この委員会でも言われておったように、インフルとコロナの同時流行の対策が求められているけれども、今回出されている中にはそういう視点が入っていないと思うんです。コロナの対策はもちろん必要なんですけども、インフル等々も同時流行の関係があって、既に徳島県でもそういう状況があるんです。やはりそこはしっかり対応せんといかんと思うんですけども、その点はいかがですか。

#### 長谷体育健康安全課健康・食育推進幹

ただいま山田委員から、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備えた対策について御質問を頂きました。

委員にお話しいただいたとおり、昨日牟岐小学校で今シーズン初めてとなる季節性インフルエンザによる学級閉鎖が行われたところでございます。この冬は新型コロナウイルス感染症に加えまして、季節性インフルエンザの流行も予想されておりますことから、県教育委員会としてはこれまでも行ってきました感染症に対する対策ということで、学校に対しては手洗い、手指消毒による手指の衛生であったり、うがいの励行、マスクの適切な着用、こまめな換気、また体調不良時の登校や出勤、外出の見合せ等によって予防対策を徹底してまいりたいと、引き続き各学校や家庭に対して働き掛けてまいりたいと考えているところでございます。

#### 山田委員

今回の場合、徳島県でこんな状況になったということ踏まえて、県教委として迅速な対応が必要になってくるんじゃないかと思うんですけども、この同時流行について、特に

今回の牟岐小の件なんかも含めて、これがばっと広がるような状況になっていったら、文字どおり同時流行が深刻な状況になる可能性があるんで、その対応策はどういうふうに考えているのかということと、学校における新型インフルエンザ等への対応については令和元年11月版で県教委としてかなりまとまった冊子も作られていますけれども、同時流行に備えた県教委としての対応についても聞いておきたいと思います。

#### 長谷体育健康安全課健康・食育推進幹

ただいま山田委員から、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行への対応について御質問を頂きました。

現在、牟岐小学校以外からはインフルエンザによる学級閉鎖等の連絡は受けていないところでございまして、今のところ県下全域にインフルエンザが広がっているという認識は持っていないところではございますが、間もなく学校は2学期を終えまして冬休みを迎えます。まずは今学期末までの学校における対策の徹底ということで、気温が低くなって換気を行うことも難しくなってきましたおるんですが、そうしたことも含めて、これまでの感染対策の徹底を行うことを働き掛けるとともに、家庭に対しても冬休み中の子供たちの感染対策を、改めて連絡会議等も開催しておりますので、その機会を捉えまして周知してまいりたいと考えておるところでございます。

#### 山田委員

これについては注目しながら、是非とも対策をしっかりとってってもらわんと大変な事態になっては困るので、よろしく願います。

それと、教職員の感染拡大防止対策強化事業についてですけど、今も議論があったんですが、今までにどれだけの事業費を投入して、その結果、幾ら使って在庫の状況はどうなっておるんですか。

#### 小原教育政策課長

ただいま山田委員より、学校における感染防止対策事業の実績についての御質問を頂戴いたしたところでございます。

この事業におきましては、コロナによる感染が拡大し始めました令和2年度以降、国において計上されました補正予算を活用いたしまして、様々な物資を購入してきたところでございます。

主な保健衛生用品といたしましては、マスク、フェイスシールド、消毒液などの消耗品でありますとか、換気用のサーキュレーター、自動水栓、網戸等の備品の設置から始まりまして、また、学校の臨時休業等の際における児童生徒の学習保障のための遠隔学習用のスピーカー付きマイクやウェブカメラ、また生徒宅への学習プリントなどの配送費を、この事業を活用し実施いたしてきたところでございます。

金額的な実績でございますけれども、これまでに執行済みの予算ということで御説明申し上げますと、令和2年度及び令和3年度におきましては、令和2年度の6月補正予算また2月補正予算そして令和3年度の現年予算、この三つの予算を用いまして、計2億2,246万1,704円を、先ほど申し上げたような主な衛生物資や器材の購入にあったところで

ございます。

また、今年度におきましては、さきの令和3年度の2月補正の際にお認めいただきました予算1億1,205万円を現在執行いたしまして、各学校におきまして資材の補充等を順次行っているところであり、今回の11月補正予算につきましては、今後の更なる事態への備えとしてお願いいたしておるところでございます。

山田委員

そうしたら、この間これだけやってきた中で、学校やあるいは幼稚園からこういうふうにしてほしいという改善などの要望が出されているか、それをどういうふうに反映されているのかという点についてお伺いします。

小原教育政策課長

ただいま山田委員より、学校や各教育機関からの要望等の状況という御質問を頂戴いたしたところでございます。

今回、この補正予算を用いましてこうした事業をこれまでやってきたところでございますけれども、各学校からは、例えば感染症対策の関係では空気清浄機やサーキュレーターの設定といったような設備的な要望を頂くとともに、学習保障対策など各学校の保護者の方々の希望に応じて様々なお声が寄せられてきたところでございます。また、こうしたことを踏まえながら、各学校から器材の購入等の要望も教育委員会事務局に寄せられたところであり、そのあたりを配慮しながら予算の配分をやってきたところでございます。

山田委員

これについてもまた見ていきたいと思うんですけれども、教職員の感染拡大防止対策事業の中で、新型コロナ抗原定性検査キットを配布してきましたよね。さっき実績が言われたわけなんですけれども、それについても今までの事業費と総額でどれぐらいの検査キットを改めて聞くのと、その辺はどういう状況なんですか。

大西福利厚生課長

ただいま山田委員から、幾らの事業費で幾ら購入してという御質問でございます。

今年度の教職員向けの抗原定性検査キットの購入につきましては、既存予算と9月補正予算でお認めいただいた分で、約4,400万円の予算で5万5,500キットを購入しております。これに、国から配布されましたキット8,880キットを合わせまして、これまでに6万4,380キットを確保しております。

このキットにつきましては、幼稚園、小学校、中学校、高校及び特別支援学校の教職員を対象としました集中的な検査、それから濃厚接触者の待機期間の短縮用として、今後一部配布する分も合わせまして、合計6万2,000キットを配布することとなっております。

山田委員

教職員が対象ということになってはいますが、全国的には、例えば大阪では市内の全ての小学校や幼稚園で9歳以下に配布する動きがあるんです。教職員の皆さんにこれを

配布するのはもちろん非常に重要な取組だと思うんですけども、小中高校生も含めて幼稚園にも検査キットを配布するということについては、全国的には行われている自治体もあるんです。徳島県の場合はその辺はどういうふうに考えられておるんですか。

長谷体育健康安全課健康・食育推進幹

ただいま山田委員から、子供たちに検査キットを配布しないのかといった御質問を頂きました。

大阪府では現在10歳から64歳までの府民の方で、何らかの症状があつて基礎疾患を持っていない、また、妊娠していない方に対して検査キットを配布して、仮に陽性となった場合には陽性者登録センターへの登録を進めておると、また先月11月には0歳から9歳までの子供についても拡大し、希望者に検査キットを配布したと聞いております。

一方で、本年10月、国の新型コロナウイルス感染症対策分科会におきまして取りまとめられた提言では、子供は重症化リスクが低いということや、子供に対して頻回に検査を行うことは本人や医療現場にとって負担が大きいこと等から、検査によって感染拡大の防止の強化を図ることは現実的ではないとされたところをございまして、文部科学省からも提言を踏まえた対応を行うようにという通知文も出されているところをございます。

県教育委員会といたしましては、これまでも講じてまいりました基本的な感染症対策の徹底を推進するとともに、部活動や寮、寄宿舎で感染が拡大した場合には、既に予算をお認めいただいているものがございますので、検査キットによる感染者の早期発見、早期封じ込めを図ってまいりたいと考えております。

岩佐委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、教育委員会関係の調査を終わります。

議事の都合により休憩いたします。（13時35分）